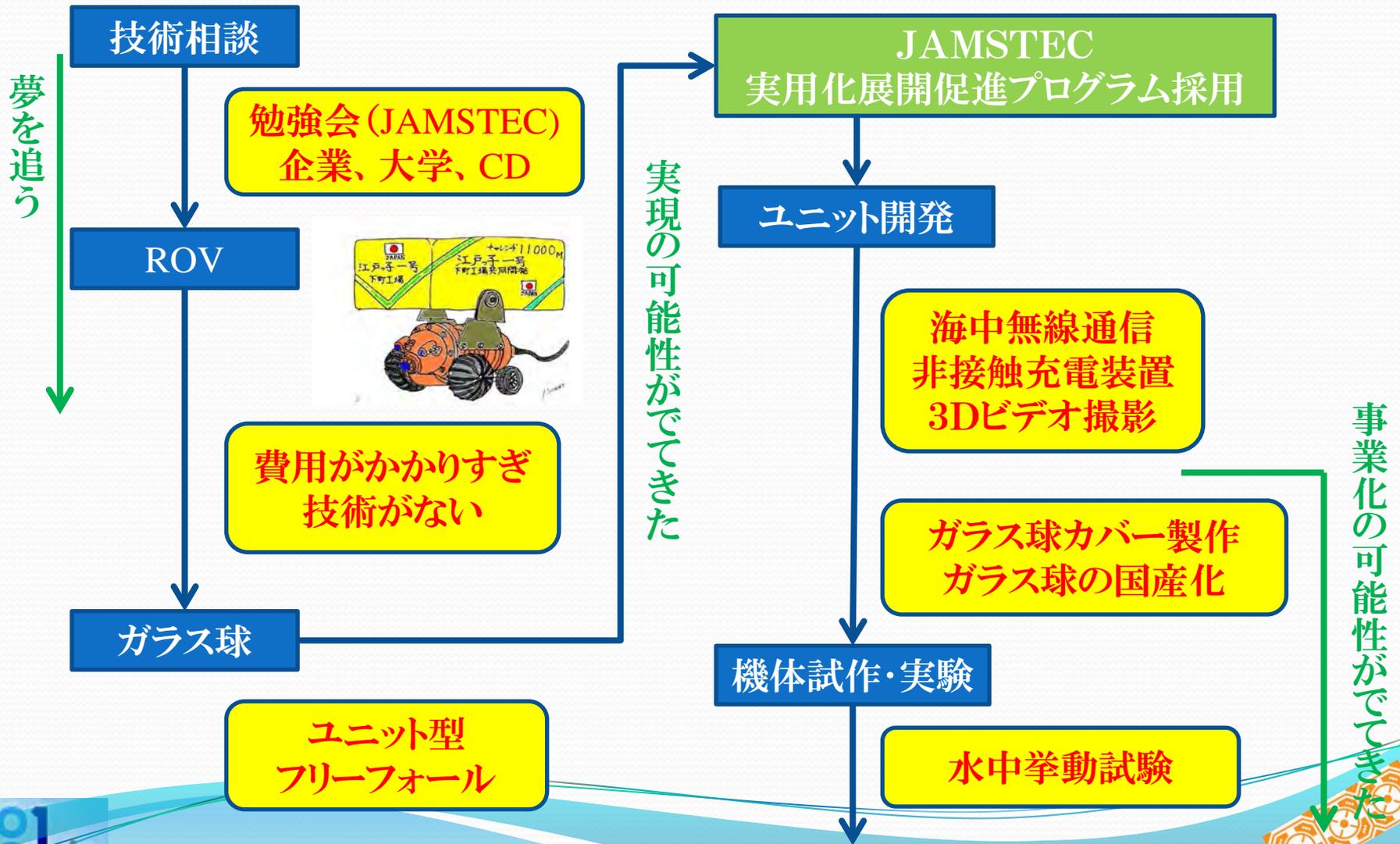
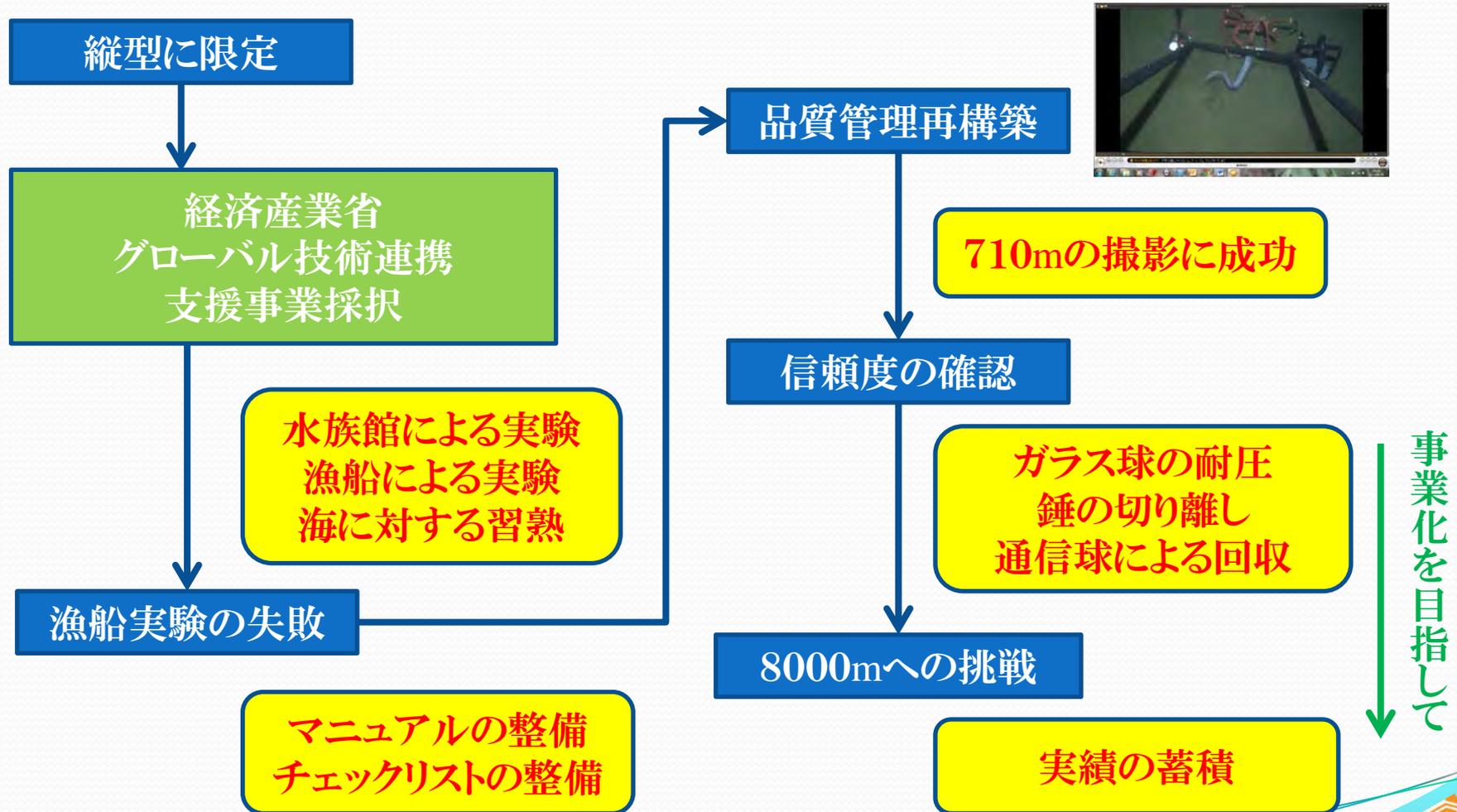


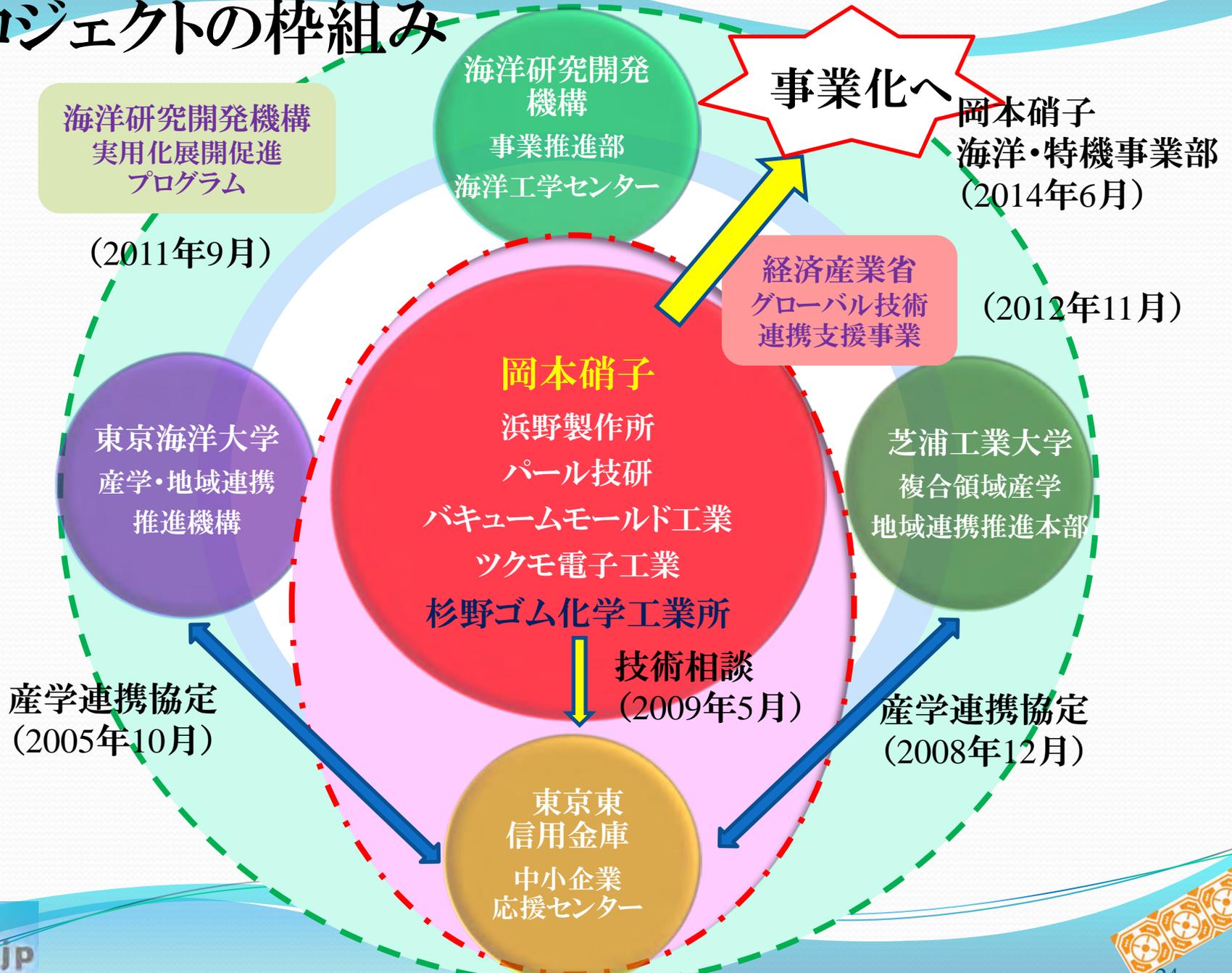
プロジェクトの展開(1)



プロジェクトの展開(2)

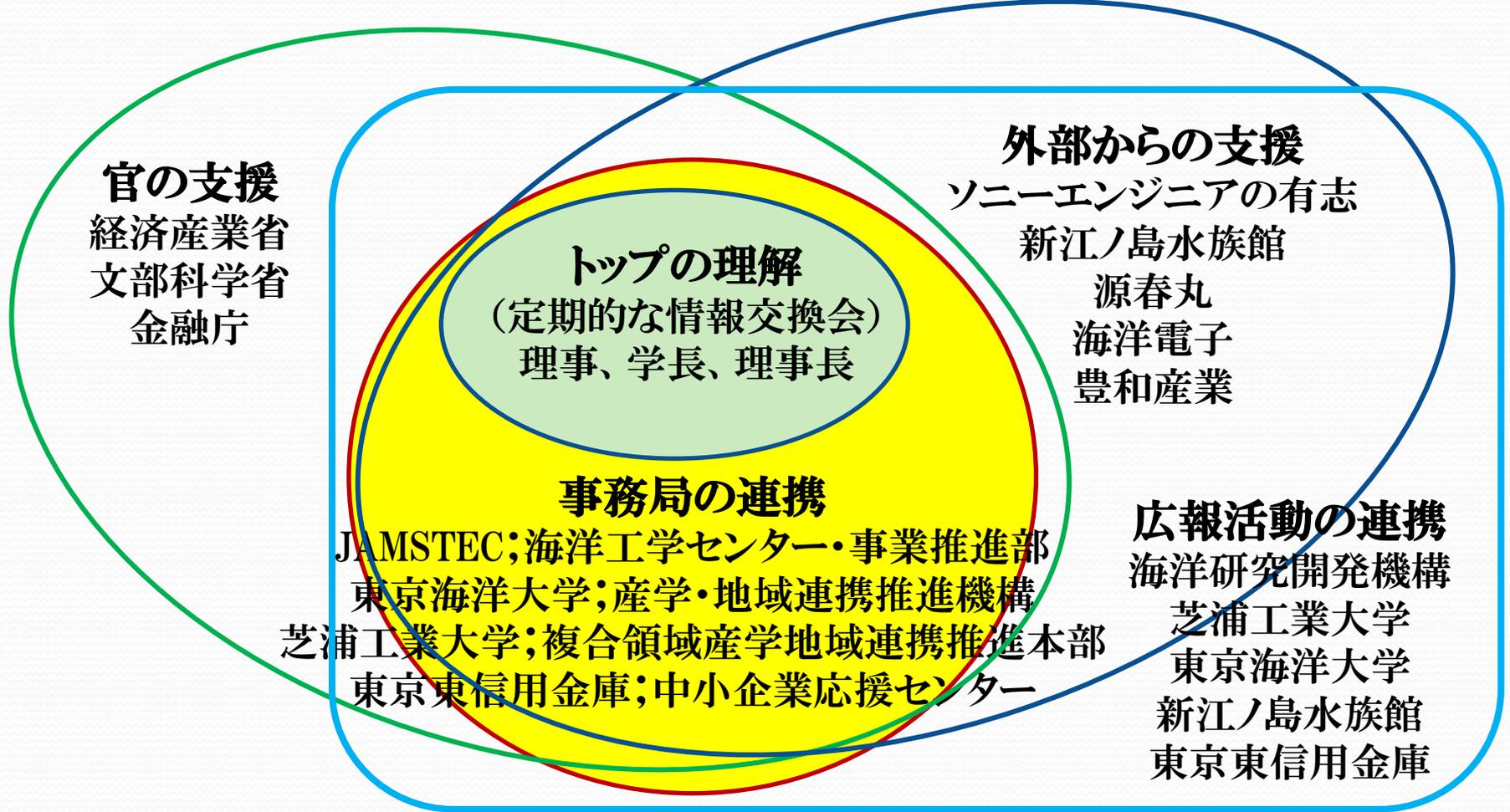


プロジェクトの枠組み



産学官金による支援体制

海洋研究開発機構・芝浦工業大学・東京海洋大学・東京東信用金庫



人的交流を含め、顔の見える情報交換により、緊密な支援体制が組めた

プロジェクトマネジメントから

- 信用金庫として
 - 地域の中小企業の経営支援の一環
 - 産学連携協定を締結した2大学を中心とした支援体制を確立
 - 信用金庫のネットワークを利用して、必要な技術を持つ企業を集める
 - 委員会事務局、助成金発掘と事務手続きを代行
 - 【江戸っ子1号応援的預金】により、一般人の支援集約
- 関係各機関の基準に対応(異なった組織のとりまとめと調整)
 - 公的機関としての制約と私企業の基準・制約の調整
 - メディア対応の整合性をとる(中小企業の話題性にだけ焦点)
 - 大学の研究テーマは毎年新しくなど、関係者のニーズに対応
- 技術屋としてのコーディネート
 - 設計は委員会側
 - 夢物語を事業化へ市場性・将来性を勘案して、少しでも役立つものを
 - 総合工学としての全体調整(部分最適化を避ける)
 - 企業体質の改善教育

プロジェクトの成果とは？

- 信用金庫がハブとなった産学・異業種連携の実施例を示せた
- 海洋に関する一般の関心を高めることが出来た
- 企業の海洋開発の進出と、JAMSTECへ企業の紹介
- 企業体質の改善の契機
 - 下請け体質からの脱出の契機
 - 外部への情報発信の契機
 - 社員のプロジェクト開発経験
- 企業等の宣伝
- 学生の社会経験の蓄積
- 安価で、取り扱い易い深海探査機の開発ができた
- 岡本硝子を中心に、事業化に向かって進みはじめた
 - 平成26年6月1日 海洋・特機事業部創設

これから事業化に向かって邁進してまいります
今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます



ご清聴ありがとうございました